

テーマ：「教える・教わる立場から、ともに学ぶ効果」

カテゴリー：③教育方法（授業・演習）

1. 学校概要：学校名：尾北看護専門学校 所在地：愛知県丹羽郡大口町下小口六丁目122番地2
課程名：3年課程 | 学年定員数：40名 就業年限：3年

【内容】

本校では、授業の一環として「教える立場・教わる立場」の体験を教育内容に組み込んだ。2年生の科目「指導技術」1年生は「日常生活援助技術Ⅱ（食べる・トイレに行く）」の科目をコラボレーションした。技術試験項目である「おむつ交換」をメインに、おむつ交換と陰部洗浄を2年生が1年生に教えるという共同学習を行っています。2年生は「教える立場」となり、指導技法として「指導案」を計画した。授業進度を参考に、「できること」「想起すること」「知識として教えること」「技術として定着させること」に分けて授業デザインを考えた。1年生は「教わる立場」として、事前に2年生から課せられた事前学習に取り組み、演習当日は先輩とペアとなり、新たな知識として、おむつ装着体験や適切な湯温の調整、陰部洗浄とおむつ交換の一連の流れを学び、既習の知識として体位変換、寝具、寝衣の取り扱いを想起した。声掛けや報告、言葉遣いや聞く姿勢など「学ぶ」態度や姿勢を教わっていた。

2023年度からは2学年合同で活動できる時間を増やし、各科目、授業としてコラボレーションする時間が4時間×2回（8時間）と、意図的に自己学習時間を2学年合わせて、授業外でも関りが持てるように時間割を工夫した。2年生の指導技術を4月から開始し、1年生に教える科目を前期「日常生活援助技術Ⅰ（環境）」「日常生活援助技術（清潔）」の2科目とした。指導ガイドラインにある「看護師教育の技術項目と到達度」の各項目は、技術試験項目以外はピア評価（学生間で責任を持ち評価する）を行っている。特に技術試験項目「臥床患者のシーツ交換」「更衣」「バイタルサイン測定」「おむつ交換」は先輩に評価を受けることにし、2年生は、1年生で修得すべき技術科目すべてに関われるようにした。

* 「ともに学ぶ」効果 成長 Word

1年生

- ① 先輩への言葉遣い
- ② 先輩との日程調整
- ③ 技術練習時間の増大、質の向上
- ④ 技術試験の合格率の向上
- ⑤ 立場をわきまえた振る舞い
- ⑥ 感謝の言葉を先輩に伝える

相互成長

2年生

- ① 後輩への声掛け
- ② 対象を把握し個別に対応
- ③ 自分都合を優先させない姿勢
- ④ 技術指導のための技術構築
- ⑤ 手本となる立ち振る舞い
- ⑥ ねぎらいの言葉をかける



真剣な眼差しで見つめる先輩の技術



先輩・後輩でリフレクション活動